

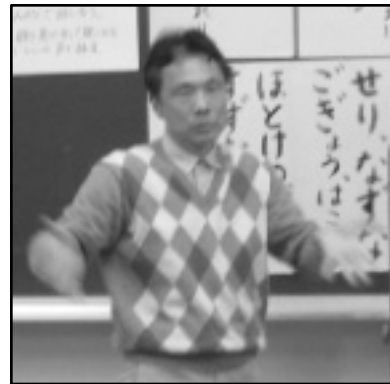


手作り絵本を実演する中野先生

心躍る絵本の紹介
まずは、いつもおもしろくて、子どもたちが心躍る絵本の紹介をしてくださる、中野和美先生。最初は、ひらがな学習で、文字に興味を持たせながら、文字の間違いにも気をつけられるような絵本でした。次に中学校でも使えるような、聞き取りながら楽しくアイズブレイクできる本を紹介してくださいました。最後には人形たちが舞台上で躍動する手作り絵本を紹介してくれました。紙面では紹介しきれないくらいの内容で、あつという間の20分でした。

春が足踏みをしたかのように、少し肌寒さを感じる4月5日。和泉コミュニケーションセンターで、「泉北新歓フェスタ」が行われました。集まった約30人の人たちは、入学式、始業式に向けて、新たな子どもたちとの出会いに胸を膨らませながら、学習会にのぞんでいました。

さあ新学期 新歓フェスタで 元氣もらった！



模擬授業をする宮下先生

子どもたちが主体的に学ぶ授業めざして
次に、キャンプファイヤー講習やミニレクでおなじみの鶴山台北小学校の宮下牧三先生に、「学級づくりで大切にすること」子どもが主役の授業をめざして、をテーマに講演していただきました。いつものレクレーションのように、温かくて優しい雰囲気を残しつつ、子どもたち一人ひとりが主役になれるように考えられた授業展開でした。子どもを司会に立てて、主体的に学んで



いく授業方法に加え、佐藤学氏の「学びの共同体」の要素を取り入れたハイブリッド授業構想。実際に、「冬は」（高見順）という詩の授業をしてくださり、宮下学級を体験しました。模擬授業を受けることで、授業方法、授業展開が具体的にわかっただけでなく、宮下先生の温かくて優しい人柄に触れることができました。宮下学級の心地よさをたっぷり体験することができました。



参加者の声

絵本の読み聞かせとても楽しかったです。4月から子どもたちとやっていきたくなりました。前から宮下先生のお話を聞くのを楽しみにしていました。先生の熱い思いをきいて自分もがんばろうと思いました。学習のテーマをあらかじめきめておくことの重要性がよく伝わりました。中学校でも授業の本質は変わらないと思いますので参考にしたいと思います。

絵本の読み聞かせは子どもたちがとても好きなので、それを利用して学習ができれば、子どもたちの力が生かせて有効だと思いました。授業1時間の流れ、ノートを使い方などがとてもわかりやすかったです。「1行とばして書く」は文字の整わない子のノートを見る工夫につながり、とても良いなと感じました。

中野先生の絵本の読み聞かせが本当に大好きです。私も中野先生が1年生の担任だったら子どもは幸せだなと思います。とうとう私も1年生の担任になったので、1文字1冊を目指してがんばります。ありがとうございました。

グループで話し合いをしている時、宮下先生がそっと寄り添ってくださった姿がとてもあたたかかったです。どんな意見も受けとめてくださり、これがだれもが安心できる授業、人間関係づくりだと感動しました。

絵本紹介

今回の新歓フェスタで中野先生に紹介していただいた本です。

- ・『はなを ほじほじ いいきもち』
ダニエラ クロート-フリッシュ/偕成社
- ・『はなくそ』
アラン メッツ/パルル舎
- ・『まめうしくんと あいうえお』
- ・『まめうしくんと こんにちは』
あきやま ただし/PHP研究所
- ・『さかさのこもりくん』
あきやま ただし/教育画劇
- ・『あるひ あひるが あるいていると』
- ・『たぬきの たろべえの たこやきや』
二宮由紀子/理論社
- ・『でんしゃにのって』
とよた かずひこ/アリス館